



tasar

Japan Tasar Association
<http://tasarjapan.org/>

86

Tasar News

Vol. 86

Sep 2006



西日本選手権 Photo by Fumio Kaneko

新理事会について

TASAR SAILOR OF THE YEAR 2005

【公示】第21回全日本選手権大会



【レポート】

スプリングレガッタ
西日本選手権
ミッドサマーレガッタ

2007年
プーケットワールド情報

編集後記

CONTENTS



巻頭言 **ファミリークラスのパワー**

会長 金子文雄

この夏、小さな子供達と一緒にテザーを楽しむ家族の姿が目立った。稲毛ヨットハーバーでは2家族が家族総出で4人の子供達を交代でテザーに乗せてセーリングを楽しんでいた。結構な風があったので、子供達にとってはジェットコースターのようなスリルがあったようだが、親たちは緊張疲れてくたくたになったのかもしれない。猪苗代湖のミッドサマーレガッタには数年前から親子チームでの参加が見られるようになったが、今年も全日本チャンピオンが親子チームとして参加した。公式戦ではあっても、家族での参加はひと味違ったレガッタとなる。シビアなトップ争いとともこうした家族ぐるみのレガッタがあるのもテザーらしい。

テザーが誕生して今年で30年、日本に定着して20年が経つ。テザーセーラーにも二世が続々と誕生して、そろそろ子供と一緒にテザーセーリングを楽しめる時期になってきた。オーストラリアでは普段の生活シーンの一部としてよく見かける家族でのセーリング姿が、日本でもようやく自然な形で見られるようになりつつある。

世の中は少子化が深刻だが、テザー界に限ってはおめでた続きで、ちょっとしたベビーブームである。物心が付いた頃にはテザーがあって、家族でセーリングを楽

しむ姿がごく普通のシーンになるのではと想像するだけで楽しくなる。かつてイギリス・ブリクサムのワールドに参加した時、ヨットクラブのバーで出会った年配のご婦人が「私も若い頃はディンギーに乗っていたのよ」と語っていたのを思い出す。その大会では孫やひ孫に相当する子供達が出艇や着艇の手伝いをするボランティア活動にいそんでいた。日本のテザー界にも家族という層の厚さができ始めている。しばしの間は子育てのためテザーの活動がお休みになるかもしれないが、将来大きな楽しみが待っていると思えば励みになるかもしれない。子育てが一段落したかつてのテザーセーラー達にもレース活動を再開して欲しいものだ。

昨年オーストラリア・ダーウィンのワールドでは参加130チームという過去最大の大会となったが、優勝したロブ&ニコル・ダグラスが親子チームだったというだけでなく、老夫婦のチームが多かったのも印象に残っている。ブライアン&モイラ・ヒルを筆頭に、年輪を重ねた笑顔の似合うカップルがレースを心から楽しんでいた。たとえ後方集団を形成してもその笑顔は失われることがなかった。体力には限界があっても、レースの楽しみ方には幅が広がっているに違いない。彼らのようなグランドマスターのレースの楽しみ方を見習いたいものだ。年配になってもレー

スを続ける人たちがいるからテザーは広い裾野を持っている。孫達がトップ争いをするのを、遙か後ろの方で目を細めながら追いかけるグランパ&グランマ。ファミリークラスの理想型かもしれない。

これまで日本のディンギーシーンは学連中心であったことは否めない。彼らが日本のセーリングを支え、世界に通用するレベルにまで高めてきたのは確かだ。しかし、学連時代以降のヨットライフがなかなか長続きしなかった。特にディンギー人口は極端に平らなピラミッド構造で、年代層の厚みができにくい環境にもあった。日本で20年を超えたテザーが、微力ながらも徐々にファミリークラスとして成長しているのは心強い限りである。

今年で21回目を迎えるテザー全日本選手権大会は10月28日から29日まで江ノ島で行われる。江ノ島フリートの活性化のおかげもあって、過去最大規模の大会を目指している。神奈川県連の濱崎理事長をはじめ、多くの人たちの協力と暖かいサポートもあって、万全の体制で着々と準備が進んでいる。できるだけ多くのテザーセーラーに積極的に参加してもらい、大会を盛り上げたいものだ。

日本テザー協会 理事メンバー

任期2年(2008年3月末まで)

会長・国際事務局	金子 文雄	(稲毛)
副会長・イベント委員長	赤井 寛	(江ノ島)
国内事務局(東日本)	亀山 寛達	(稲毛)
国内事務局(西日本)	掛川 宏	(芦屋)
会計	本間 威	(葉山)
メジャー	金子 文雄	(稲毛)
広報委員長	岡 誠	(葉山)

日本テザー協会の会長を引き受けて半年近くになります。吉川さんが日本にテザー協会を立ち上げてから20年が経ち、その間に野比の小沢さん、芦屋の安澤さん、葉山の本吉さんが会長を引き継ぎ、テザーメンバーも協会の活動も少しずつ大きくなってきました。私が5代目の会長となりますが、みなさんの熱心で献身的な活動と、生涯スポーツとしてテザーを楽しもうという精神を引き継ぎ、微力ながらも協会活動のお世話ができればと思っています。

今年はマイラーセールが導入され、クラスルールも変更されて、テザークラスは一つの転機を迎えています。普通の男女が容易にプレーニングを楽しめるハイパフォーマンスボートとしてのコンセプトを守りながら、テザー誕生30年目を契機にさらにテザーらしさに拍車をかけて魅力をアップしようというのが謳い文句です。多少の戸惑いはあるかもしれませんが、楽しみのレベルを上げる挑戦ととらえて、新しいテザーに向き合っていきたいと思います。

新しい理事会が4月にスタートし、これまでに葉山のスプリングレガッタ、芦屋の西日本選手権、猪苗代湖のミッドサマーレガッタが行われました。そしてオクタムレガッタの後には江ノ島で全日本選手権大会が行われます。

協会の理事会では新しいメンバーが加わって、連日白熱した議論と意欲的なイベント企画が練られています。先の理事会から引き続きイベントを担当して頂くことになった赤井さんは、立て続けのイベントに大車輪の活躍をしてくれています。レース公示もISAFの標準フォーマットに準拠したものに切り替え、ミッドサマーレガッタから適用されました。全日本選手権の準備もフリートキャプテンの村尾さんはじめ江ノ島のメンバーのまとまりで準備着々と進んでいます。国内事務局は稲毛の亀山さんが担当してくれることになり、理事会活動の要としての役割を買って出てくれています。しばらく仕事でニューヨーク出張中ですが、現地からもメールで対応してくれています。西日本担当は芦屋で活動中の鼓月ヨットクラブの掛川さんが担当することになりました。長年安澤さんが尽力されてきた西日本事務局ですが、安澤さんの指導のもとに熱心に駆け回って頂いています。会計は小松さんから引き継いだ

同じデラマンチャヨットクラブの本間さんが新たに理事メンバーに加わって頂きました。広報は長い間ニュースレターとJTAサイトのウェブマスターを務めてくれた石丸さんからソニーヨットクラブの岡さんに引き継ぎました。テザークラスのコミュニティサイトとしてさらに盛り上がる仕組み作りに期待しています。メジャーは葉山の田口さんが引き受けてくれることになっていましたが、実体の協会活動を一緒に行うことが難しく、当面は会長の金子がメジャーを兼任することになりました。田口さんには引き続き、ルール関係のアドバイスを行ってもらうことになっています。短い期間でしたが協会規約の改正やクラスルールへの新しい提案、レース公示のフォーマットの作成等々、多くの助言をいただきました。

来年はタイのプーケットでワールドが開催されます。すでに数チームが参加表明をしており、最終的にはいつものように日本から10チーム近い参加になるのではないかと考えています。今回はコンテナ輸送を葉山の小松さんが担当してくれることになりました。参加意思のある方はぜひ小松さんまで連絡下さい。そして、プーケットの次はいよいよ日本でのワールド開催となります。3年後の2009年の予定ですが、すでに本吉さんを中心に日本ワールド開催準備委員会が立ち上がっています。年内には開催地を決定し、来年のプーケットでプレゼンテーションを行う予定です。

協会活動はテザークラスの中だけでなく、世界テザークラス協会や各国協会との連携、国内ではJSAFの各委員会での活動、各フリートと協力関係にある各県連との連絡など多岐にわたっています。協会活動にボランティアとして手伝っていただけるテザーメンバーがいればいつでも大歓迎です。

しかしそれ以上に、もっともっとテザーにたくさん乗って、プレーニングを楽しみ、カートップしてどろんどろん遠征に出かけ、レースに興奮しあるいは落胆し、テザーメンバーとの繋がりを深め、新しいメンバーを増やし、セーリングライフを大いにエンジョイして欲しいと思います。

金子文雄

新 理 事 紹 介

【副会長・イベント委員長】

2006年春から2年間の任期でJTA理事(イベント)・副会長を担当させていただいています江ノ島フリースの赤井です。金子会長、他理事の方々、各フリースキャプテンと一緒に協会活動を楽しく盛り上げ、また新会員を増やす活動を進めていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。2006年度のJTA公式スケジュールは7ページのとおりです。皆さんふるってご参加ください。またお近くのテザーにもお声を掛けてください。

(赤井 寛)

【国内事務局(東日本)】

テザーを始めて10年。そろそろ何か協会のお役に立つことをしたいな、と思っていた矢先に金子会長よりご指名いただきました。国内事務局のミッションは「円滑な協会活動の推進」です。具体的には理事会の開催、規約改正準備、JSAF窓口などをしております。本当は総会準備も大きな仕事なのですが9~10月が海外出張で不在となるため、他の理事の方々をお願いしております。(みなさん、すみません...)。今後は、同一フリースメンバーである金子会長を支えながら、名簿の充実やフリース活性化に取り組む予定です。

(亀山 寛達)

【国内事務局(西日本)】

芦屋フリースの掛川です。4月よりフリースキャプテン、安澤

厚男理事の後任として日本テザー協会西日本事務局を担当させていただくことになりました。鼓月ヨットクラブ創部とともにテザーを乗り始めて3年と、まだまだ未熟な私が拝命されましたことを大変光栄に思いますとともに、責任の重大さを痛感しております。芦屋フリースキャプテン安澤さんとともに西日本を盛り上げて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

(掛川 宏)

【会計】

今年4月より2年の任期でJTA理事(会計)を担当致します葉山フリースの本間です。テザーに乗って10年以上経ちますが、今までデラマンチャヨットクラブでの活動でしたが今回協会理事として金子会長、各理事、フリースの方々とともにテザー協会を盛り上げて行きたいと思ひます。皆様の御協力を得まして、頑張って行きたいと思ひますので宜しく御願ひ致します。

(本間 威)

【広報】

テザーの広報活動を充実したものにされた石丸さんの後任というのは本来荷が重いのですが、Webサイト運用のお手伝いをしていたこともあって広報担当を引き受けることにしました。Webサイトの移転を無事終えましたので、順次コンテンツを増やしていく予定です。今後もすばらしいテザーコミュニティの発展をお手伝いし、そしてその活動を内外へアピールできればと思ひます。

(岡 誠)

TASAR SAILOR OF THE YEAR 2005 表彰

最優秀選手賞： 小松 充さん(葉山)

特別賞： 川戸 仁さん・ゆかさん(津))

本吉 讓治さん(葉山)

News!

ニュース

ス プリングレガッタのパーティーで2005年度のTASAR SAILOR OF THE YEARの表彰がおこなわれました。

年間を通じて日本テザー協会が主催する公式レースに於いて、最も優秀な成績を修め、かつ最も協会イベントに貢献した会員に対して贈られる「TASAR SAILOR OF THE YEAR 最優秀選手賞」は、2005年全日本選手権のチャンピオンでもある葉山フリースの小松充さんが受賞しました。

また2005年度は三重県津で活動されている川戸夫妻と本吉前会長に、特別賞として「TASAR SAILOR OF THE YEAR 功労賞」の受賞を理事会で決定し、記念品が贈られました。

川戸夫妻は2005年11月に三重県津ヨットハーバーでおこなわれた第20回全日本選手権の運営・準備にあたって、協会側と三重県ヨット連盟との連絡・連携を密に進めていただき、フリース活動の無い水域での全日本選手権大会の成功に対して多大なる貢献をいただきました。

また本吉前会長は、任期であった2002年春から2006年春

までの4年間にわたりテザーの普及発展に尽くされた功績は全てのテザーセーラーの認めるところです。

なお、今回は皆勤賞は該当者がありませんでした。



最優秀選手賞の小松さん

TASAR SAILOR OF THE YEAR 2005

順位	NAME	FLEET	スプリングレガッタ					西日本選手権					ミッドサマーレガッタ					オータムレガッタ					全日本選手権					ミッドウインター					RP	TP				
			葉山(4/30,5/1)					芦屋(7/18)					猪苗代(8/21,22)					江ノ島(10/16)					津(11/19,20)					稲毛(2/19)										
			RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP						
1	小松 充	葉山	2	29		0	29		0	0	0	4	13		2	15		3	25		1	26		1	35		4	3	42		0	0	0	102	112			
2	本吉 謙治	葉山	6	25		0	25		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	27		1	28		5	31		4	3	38		6	8	1	9	91	100		
3	中島 玲子	葉山	9	22		0	22		5	16		3	19		0	0	0	5	23		1	24		12	24		3	27		8	6	1	7	91	99			
3	山本 晴之	葉山	9	22		0	22		5	16		3	19		0	0	0	5	23		1	24		12	24		3	27		8	6	1	7	91	99			
5	田中 紀子	稲毛	1	30		1	31		0	0	0	3	14		2	2	18		0	0	0	0	0	3	33		3	36		0	0	0	0	77	85			
5	石川 洋二	葉山		0	24		0	24		9	12		3	15		10	7		2	9		15	13		1	14		16	20		3	23		0	0	0	52	85
7	田中 郁也	稲毛	1	30		1	31		0	0	0	3	14		2	16		0	0	0	0	0	3	33		3	36		0	0	0	0	0	0	77	83		
7	安澤 厚男	芦屋	4	27		3	30		4	17		0	17		0	0	0	0	0	0	0	0	7	29		4	3	36		0	0	0	0	0	73	83		
9	赤井 寛	江ノ島	16	15		1	16		0	0	0	7	10		2	12		8	20		0	20		0	28		3	31		0	0	0	0	0	45	79		
10	野嶋 嘉昭	葉山		0	24		0	24		0	0	0	0	0	0	0	11	17		1	18		4	32		3	35		0	0	0	0	0	49	77			
10	宮下 知之	葉山		0	24		0	24		0	0	0	0	0	0	11	17		1	18		4	32		3	35		0	0	0	0	0	49	77				
12	白岩 道孝	浜名湖	20	11		2	13		0	0	0	0	0	0	0	2	26		2	28		8	28		2	30		0	0	0	0	0	65	71				
12	長谷川 勝啓	浜名湖	13	18		2	20		8	13		2	15		0	0	0	0	0	0	0	0	2	34		2	36		0	0	0	0	0	65	71			
14	蜂真賀 強	浜名湖	17	14		2	16		0	0	0	0	0	0	0	12	16		2	18		18	18		2	20		12	2	2	4	50	58					
15	金子 文雄	稲毛	3	28		1	29		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	21		4	3	28		0	0	0	0	0	49	57		
16	宇佐美 重則	稲毛	12	19		1	20		0	0	0	8	9		2	11		4	22		1	25		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	52	56		
17	久礼 嘉伸	葉山	10	21		0	21		0	0	0	0	0	0	0	6	22		1	23		0	0		0	0	0	0	4	10	1	11	53	55				
17	平生 純一郎	稲毛	7	24		1	25		0	0	0	1	16		2	18		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12	0	12	52	55				
19	岡 誠	葉山	18	13		0	13		0	0	0	0	0	0	0	0	14	14		1	15		17	19		4	3	26		0	0	0	0	0	46	54		
20	石原 裕二	葉山		0	24		0	24		0	0	0	0	0	0	21	7		1	8		20	16		3	19		0	0	0	0	0	23	51				
21	建内 満	葉山	18	13		0	13		0	0	0	0	0	0	14	14		1	15		17	19		3	22		7	7	1	0	1	0	53	50				
21	山下 栄輝	葉山	14	17		0	17		0	0	0	11	6		2	8		9	19		1	20		0	0		0	0	10	4	1	5	46	50				
23	植田 泰平	芦屋		0		0	0		3	18		0	18		0	0	0	0	0	0	0	9	27		3	30		0	0	0	0	0	45	48				
23	村尾 隆	江ノ島	30	1		1	2		0	0	0	13	4		2	6		22	6		3	0	9		0	28		3	31		0	0	0	11	48			
25	龜山 寛達	稲毛	8	23		1	24		0	0	0	2	15		2	17		0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	5	0	5	43	46						
26	白杵 辰朗	大阪北港	21	10		3	13		1	20		1	21		0	0	0	0	0	0	0	31	5		4	2	11		0	0	0	0	0	35	45			
27	本間 威	葉山		0	24		0	24		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	16		3	19		0	0	0	0	0	16	43				
27	石丸 寿美子	葉山	19	12		0	12		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28		3	31		0	0	0	0	0	12	43				
29	小林 通博	野比	11	20		0	20		0	0	0	0	0	0	0	7	21		1	22		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	41	42				
29	及川 慎太郎	野比	11	20		0	20		0	0	0	0	0	0	0	7	21		1	22		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	41	42				
31	井上 誠一	稲毛	8	23		1	24		0	0	0	2	15		2	17		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	41				
31	長野 国比古	琵琶湖		0		0	0		11	10		1	11		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28		2	30		0	0	0	10	41			
33	瀧本 浩一	江ノ島		0		0	0		0	0		0	0		0	0	19	9		0	9		0	28		3	31		0	0	0	0	0	9	40			
34	三輪 記裕	大阪北港		0		0	0		7	14		1	15		0	0	0	0	0	0	0	14	22		2	24		0	0	0	0	0	0	36	39			
34	赤井 明日香	江ノ島	16	15		1	16		0	0	0	0	0	0	0	8	20		3	0		23		0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	39				
36	池田 俊則	大阪北港		0		0	0		12	9		1	10		0	0	0	0	0	0	0	10	26		2	28		0	0	0	0	0	35	38				
36	安原 美郎	葉山	26	5		0	5		0	0	0	0	0	0	16	12		1	13		19	17		3	20		0	0	0	0	0	34	38					
38	多田 幸男	大阪北港		0		0	0		2	19		1	20		0	0	0	0	0	0	0	21	15		2	17		0	0	0	0	0	34	37				
39	池内 敏	稲毛	5	26		1	27		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		9	0	9	35	36						
40	高山 勝	芦屋		0		0	0		20	1		0	0		0	0	0	0	0	0	0	6	30		3	33		0	0	0	0	0	31	33				
41	金子 川	稲毛	3	28		1	29		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	29				
41	小林 昌弥	葉山	15	16		0	16		0	0	0	6	11		2	13		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	29				
41	外石 満	葉山		0		0	0		0	0		15	2		2	4		20	8		1	9		25	11		3	14		13	1	1	2	22	29			
44	加野 靖紀	博多		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		11	25		3	28		0	0	0	25	28				
45	川戸 仁	中部北陸		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		13	23		4	0	27		0	0	0	23	27			
45	星野 直広	江ノ島	23	8		1	9		0	0	0	0	0	0	13	15		3	0		18		0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	27					
45	田中 剛	葉山	27	4		0	4		0	0	0	12	5		2	9		24	4		1	5		30	6		3	9		0	0	0	19	27				
48	関口 真秀	葉山	6	25		0	25		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25				
49	中西 英貴	芦屋		0		0	0		10	11		0	11		0	0	0	0	0	0	0	0	26	10		3	13		0	0	0	0	21	24				
49	小沢 拓身	自宅野比		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		15	21		3	24		0	0	0	21	24				
49	山口 巖	葉山		0	24		0	24		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24			
52	多井 堅一郎	葉山	27	4		3	0		0	0		16	1		2	3		26	2		1	3		31	5		3	8		7	7	1	8	19	22			
52	千波 正隆	江ノ島	24	7		1	8		0	0	0	0	0	0	17	11		3	0		14		0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	22					
54	瀧 隆太	葉山		0		0	0		0	0		0	0		0	0		18	10		1	11		29	7		3	10		0	0	0	17	21				
54	田口 裕介	葉山		0	</																																	

順位	NAME	FLEET	スプリングレガッタ					西日本選手権					ミッドサマーレガッタ					オータムレガッタ					全日本選手権					ミッドウインター					RP	TP
			葉山(4/30,5/1)					芦屋(7/18)					猪苗代(8/21,22)					江ノ島(10/16)					津(11/19,20)					稲毛(2/19)						
			RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP		
59	山崎 映子	西宮	0	0	0	0	13	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	8	2	10	0	0	0	0	16	18				
62	徳田 幹太	大阪北港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	14	2	16	0	0	0	0	14	16					
62	玉置 淳	芦屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	13	3	16	0	0	0	0	13	16						
64	南屋 恵美子	芦屋	0	0	0	0	6	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15					
64	東 慎二	浜名湖	0	0	0	0	0	0	0	0	5	12	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	15					
66	野本 雅史	葉山	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1	2	0	24	4	1	0	27	9	3	12	13	1	1	2	15	14						
67	軽部 竜也	稲毛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	13	13	13						
67	宮本 哲生	稲毛	0	0	0	0	16	5	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	5	0	5	10	13						
69	大西 隆浩	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11	0	11	11	11						
69	中村 博士	芦屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	8	3	11	0	0	0	0	0	8	11						
71	田中 聡子	稲毛	22	9	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10						
71	鈴木 章弘	芦屋	0	0	0	0	19	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	31	5	3	8	0	0	0	0	0	7	10						
73	米倉 和宏	稲毛	5	26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	9	0	9	35	9						
74	下村 晃司	芦屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	5	3	8	0	0	0	0	0	5	8						
75	渡辺 克充	芦屋	0	0	0	0	14	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7						
76	角野 朋子	芦屋	0	0	0	0	15	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6						
77	高橋 徹	江ノ島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5						
77	末澤 一夫	芦屋	0	0	0	0	16	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5						
77	相馬 大輔	葉山	29	2	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5						
80	抜井 由紀子	芦屋	0	0	0	0	18	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3						

Tasar of the Year 凡例:

- RR : Race Result (レース順位)
- RP : Race Point (レース成績点=参加艇数-順位(RR)+1)
- CP : Committee Point (運営参加点=参加艇数*0.8)
- レースも出た場合=参加艇数*0.1
- : JTA未加入期間

Visiting Point (遠征点:距離による遠征ポイント)計算

- 5点 : 1200km以上
- 4点 : 700km以上1200km未満
- 3点 : 400km以上700km未満
- 2点 : 150km以上400km未満
- 1点 : 150km未満
- 0点 : 本拠地
- # 所属フリート若しくは艇の保管場所と自宅が150km以上離れている場合、遠征ポイントは自宅からの距離を対象とする。

遠征距離計算

	最寄IC	葉山	江ノ島	野比	稲毛	浜名湖	琵琶湖	大阪北港	芦屋
葉山	逗子IC	NA	約 10 km	約 10 km	約 100 km	約 250 km	約 500 km	約 550 km	約 550 km
江ノ島	逗子IC	約 10 km	NA	約 20 km	約 100 km	約 250 km	約 500 km	約 550 km	約 550 km
野比	逗子IC	約 10 km	約 20 km	NA	約 100 km	約 250 km	約 500 km	約 550 km	約 550 km
稲毛	幕張IC	約 100 km	約 100 km	約 100 km	NA	約 300 km	約 550 km	約 600 km	約 600 km
浜名湖	浜松IC	約 250 km	約 250 km	約 250 km	約 300 km	NA	約 250 km	約 300 km	約 300 km
琵琶湖	大津IC	約 500 km	約 500 km	約 500 km	約 550 km	約 250 km	NA	約 70 km	約 70 km
大阪北港	舞洲IC	約 550 km	約 550 km	約 550 km	約 600 km	約 300 km	約 70 km	NA	約 20 km
芦屋	西宮IC	約 550 km	約 550 km	約 550 km	約 600 km	約 300 km	約 70 km	約 20 km	NA

	最寄IC	葉山	江ノ島	野比	稲毛	浜名湖	琵琶湖	大阪北港	芦屋
葉山	逗子IC	0 P	1 P	1 P	1 P	2 P	3 P	3 P	3 P
江ノ島	逗子IC	1 P	0 P	1 P	1 P	2 P	3 P	3 P	3 P
野比	逗子IC	1 P	1 P	0 P	1 P	2 P	3 P	3 P	3 P
稲毛	幕張IC	1 P	1 P	1 P	0 P	2 P	3 P	3 P	3 P
浜名湖	浜松IC	2 P	2 P	2 P	2 P	0 P	2 P	2 P	2 P
琵琶湖	大津IC	3 P	3 P	3 P	3 P	2 P	0 P	1 P	1 P
大阪北港	舞洲IC	3 P	3 P	3 P	3 P	2 P	1 P	0 P	1 P
芦屋	西宮IC	3 P	3 P	3 P	3 P	2 P	1 P	1 P	0 P

2006年度年次総会開催のご案内

下記の通り2006年度の日本テーザー協会年次総会を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席ください。総会に出席できない場合は国内事務局宛にファックスまたは郵送にて別紙の委任状をお送りください。よろしくお願いいたします。

日時： 10月28日(土) 17:30～

場所： 県立かながわ女性センター

〒251-0036 神奈川県藤沢市江の島 1-11-1 TEL 0466-27-2111 FAX 0466-25-6499

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/02/0050/toppage/> (全日本会場前)

議題：

1. 2006年度活動報告
2. 日本テーザー協会規約改正提案について
3. 2006年度会計報告
4. クラスルールの適用除外と変更提案について
5. 2007年度全日本開催地選定について
6. 2007年度プーケットワールドについて
7. 2009年度ジャパンワールドについて



Events

イベント情報

イベントに関するお問い合わせ

JTA イベント担当 赤井まで
mail: event@tasarjapan.org

イベントスケジュール

2006年度

10/28(土)～29(日) テーザー全日本選手権 [江ノ島]
10/28(土) 日本テーザー協会年次総会 [江ノ島]
2007年2月(未定) ミッドウィンターレガッタ [稲毛]

2007年度

2007年7月2日(月)～11(水)
テーザー世界選手権 [タイ・プーケット]



Notice

レース公示

第21回全日本選手権のご案内

ただ今以下にてオンラインエントリー受付中です。皆さん奮ってご参加ください。

<http://tasarjapan.org/events/2006/nationals/>

レース公示

2006年10月28日～10月29日

江ノ島ヨットハーバー

主催：日本テザー協会

(財)日本セーリング連盟公認 H18-32

1 規則

1.1 本レガッタには「セーリング競技規則」に定義された規則を適用する。

1.2 日本セーリング連盟規程5は適用しない。

1.3 競技規則 付則 G3 を適用する。

1.4 競技規則 付則 G3 は次のとおりに変更される。

G3 チャーターまたは貸与した艇

レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会の為にチャーターした艇または貸与した艇には、クラス規則に違反している国を示す文字やセール番号(他の参加者と重複しない)を付けることができる。

1.5 テザークラスルール C.6 (クルー重量)を適用しない。

2 広告

広告カテゴリーはAである。

3 参加資格

3.1 本レガッタは、テザークラスのすべての艇が参加できる。

ただし、次の(1)～(2)の要件を全て満たし、3.2項または3.3項に示す申し込みを完了すること。

(1) 乗員は2006年度のISAFの各国協会((財)日本セーリング連盟などのメンバー)であること。

(2) 乗員のうち少なくとも1名が各国の2006年度のテザー協会会員であること。

注) テザー協会加入の手続き、または年会費の納入は、10月10日(火)までにお振込みにて手続きされるようにご協力お願い致します。

振込先：三菱東京UFJ銀行 浦和支店(店番669)普通 132037
日本テザー協会 本間 威

3.2 次の(1)～(3)のいずれかの方法で、2006年10月9日(月)までに参加申し込みを完了すること。

(1) 協会公式ホームページ(<http://tasarjapan.org/>)よりオンラインエントリー

(2) 申込用紙の内容をE-mail (event@tasarjapan.org)

(3) 申込用紙に必要事項を記入の上、下記申込み先にFAX

日本テザー協会 イベント事務局

赤井 寛 FAX: 0466-34-0766

3.3 参加申し込みが遅れた場合には、次の条件で受け付ける。

(1) 前日10月27日(金)まで： 3.2項(2)または(3)の方法で参加申し込みを完了し、レイトエントリーフィーを支払う。

(2) 当日10月28日(土)9:30まで： 3.2項(3)の方法で参加申し込みを完了し、レイトエントリーフィーを支払う。

4 参加料

4.1 参加料は、1艇16,000円とする。

4.2 レイトエントリーフィーは1艇2,000円とする。

注) 参加料(レイトエントリーフィーの場合を含む)の支払いは、

10月10日(火)までにお振込みにて手続きされるようにご協力お願い致します。

振込先：横浜銀行 本店(店番200)普通 1761095

日本テザー協会 滝本 浩一

4.3 その他の料金

・持込み艇(テザー)に対する江ノ島ヨットハーバー施設利用料
1,450円/日(県内利用者 1,150円)
(艇搬入手続きおよび支払いは、各自で(株)湘南なぎさパーク事務所へ直接行うこと)

・県営駐車場利用料 690円/日

・レース参加選手2名を超える場合のパーティー参加料金 3,000円/人

5 日程

5.1 登録

登録日 2006年10月28日(土) 8:00から9:30まで

5.2 計測及び検査

計測日 2006年10月28日(土) 8:00から9:30まで

5.3 レース日程

2006年10月28日(土) 3レース

2006年10月29日(日) 3レース

5.4 2006年10月28日(土)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、10:55である。

2006年10月29日(日)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、9:25である。最終日は13:30以降のスタートはしない。

5.5 その他の日程

2006年10月28日(土)

17:30 テザー協会年次総会(県立かながわ女性センター)

19:00 パーティー(テラス Kai)

2006年10月29日(日)

16:00 閉会式

6 計測

レース委員会より指名を受けた艇には、艇体重量その他の計測が行われることがある。

レース委員会は何時でも再計測を行うことができる。

7 帆走指示書

帆走指示書は、2006年10月28日(土)8:00以降に、江ノ島ヨットハーバーの大会本部で入手できる。

8 開催地

大会会場は江ノ島ヨットハーバーである。会場へのアクセスについては、江ノ島ヨットハーバーホームページ(<http://enoshima-yacht-harbor.jp/index2.htm>)を参照のこと。

9 コース

帆走するコースは添付資料Aの中のエリアAに、およそ内角60度のトライアングルコースの形で設置される。廻航方法等は帆走指示書で示す。

10 得点

10.1 シリーズの成立には、2レースを完了することが要求される。

10.2 完了したレースが4レース以下の場合、艇のシリーズの得点は全レースの合計得点とする。

11 支援艇

支援艇は白色旗で識別されなければならない。支援艇搬入および係留等の手続きは、各自で(株)湘南なぎさパーク事務所へ直接行うこと。

12 停泊

艇は大会期間中江ノ島ヨットハーバーまたは小田急ヨットクラブの指定された場所に保管されなければならない。

13 無線通信

艇はレース中無線通信を行ってはならない。また、全ての艇が利用できない無線通信を受信してはならない。この制限は、携帯電話にも適用する。

14 賞

賞は次の通り与えられる。

- ・1～6位
- ・マスタークラス(乗員の合計年齢が80歳以上99歳以下)1位
- ・グランドマスタークラス(乗員の合計年齢が100歳以上119歳以下)1位
- ・スーパージョニアクラス(乗員の合計年齢が120歳以上)1位

年齢に関わる表彰は実施された全てのレースにおいてそれぞれの要件を満たした場合に対象となる。

主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。

15 免責

競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加する。規則4(レースをすることの決定)を参照のこと。主催団体は、レガッタの前後、レガッタ期間中に生じた物理的損害または個人の身体的傷害もしくは死亡に対するいかなる責任をも負担しない。

16 安全および環境保護に関する規程

16.1 1艇あたり3名もしくはそれ以上の乗員がレースに参加する場合には、受付時に各レースの乗員をあらかじめ登録しなければならない。

16.2 JSAF環境キャンペーンの趣旨に則り、陸上、洋上にかかわらず、レース参加艇からのごみ投棄を禁ずる。

追加情報

さらに詳しい情報を得るには、日本テザー協会ウェブサイト(<http://tasarjapan.org>)を参照してください。



早期エントリー締め切り迫る！！

今回のワールドまであと9ヶ月。現地では準備が進んでいるようです。タイ赴任中の田中さんが現地レポートをまとめてくださっていますので次のページ以降で紹介いたします。

なお、早期エントリーはすでに始まっています。ワールドに行く！と決めている方は締め切り10/31までにお申し込みを。

チャーターボートは残念ながら用意されないようですが、新艇なら特別価格にて現地で受け取れますよ。



テザーワールド 2007 情報交換メーリングリストへの参加は

tasarworlds07-subscribe@yahoogroups.jp

にメールを送信！

エントリー

オプションA：
10/31までに全額... 800豪ドル (約70,000円)

オプションB：
10/31までに一部... 300豪ドル
4/30までに残額... 550豪ドル
レイトエントリーフィー：200豪ドル

早期エントリー締め切り 2006年10月31日
エントリー締め切り 2007年4月30日

スケジュール

7月2日(月) 9:00-12:00	登録
7月3日(火) 9:00-12:00	登録
	夜 ウェルカムイベント
7月4日(水) 午後	招待レース
7月5日(木) 第1日目	最大3レース
7月6日(金) 第2日目	最大3レース
7月7日(土) 第3日目	最大3レース
	夜 ミッドレガッタイベント
7月8日(日) 第4日目	レイデイ 予備日
7月9日(月) 第5日目	最大3レース
7月10日(火) 第6日目	最大3レース
7月11日(水) 第7日目	最大3レース 表彰式

Phuket Report

～2007年フーケットワールド セーリングサイト情報～

by 田中 郁也

7月8日から11日まで、来年ワールドが開催されるフーケットに行ってきました。期間中、Skiff Asiaを主宰するRobertの協力を得て短時間ではありましたが、レースエリア近傍をセーリングすることができました。

以下にレース海面の状況などを報告します。

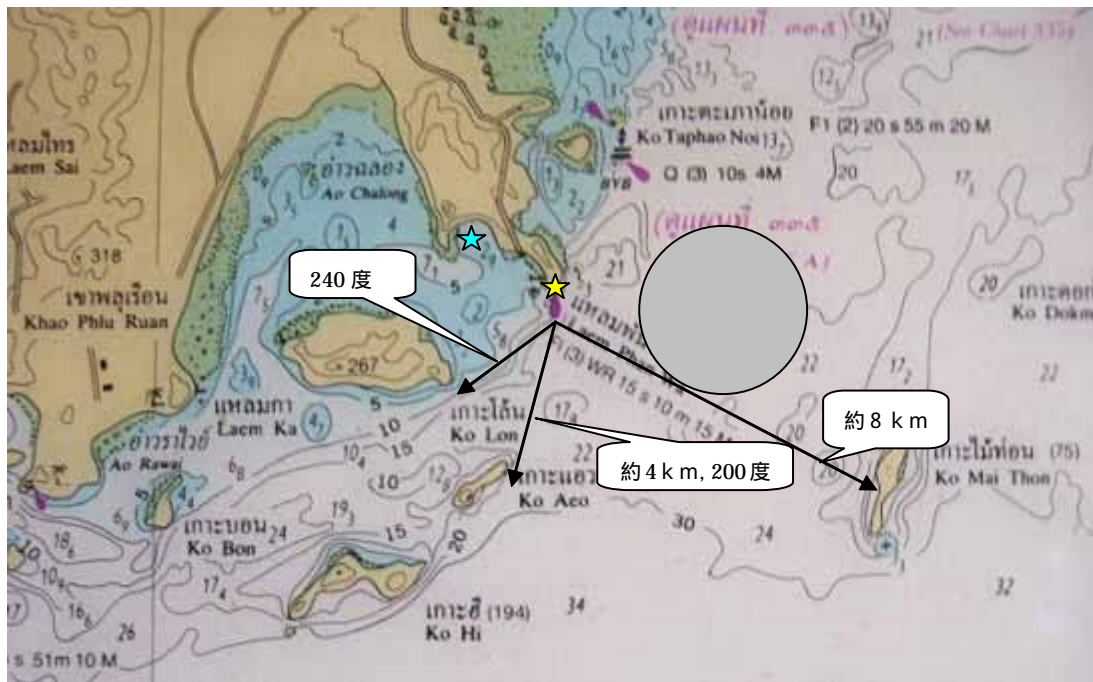


図1 レースエリア付近

インドシナ半島の気候は、乾季、暑季、雨季に大別され、例年6月ころから雨季がはじまるといわれています。この時期、上空には強い西からの季節風(モンスーン)が吹き、湿った空気が運ばれることで雨が頻繁に降ります。しかし、7月などの雨季のはじめは一日中雨が降ることは少ないようで、ロー・シーズンで人は比較的少なく、宿も安い、運がよければ晴れるということで、観光にはおいしい時期といえそうです。私たちが滞在した4日間の天気は以下のとおりです。

- | | |
|-------|-----------------------------------------|
| 7月8日 | 昼前空港着 曇り時々晴れ
1時間に1回程度シャワーあり
風向：南西 |
| 7月9日 | 朝うす曇り、その後晴れ、シャワーなし
風向：南西 |
| 7月10日 | 曇り時々雨
風向：南南西 午前にセーリング |
| 7月11日 | 曇り時々雨
風向：南西 |

7月のフーケットの天気予報を見ましたが、ほとんど風向

は南西または西でした。モンスーンが吹いている間は南西または西の風となるようです。Robertによればベトナム付近に台風が接近した場合には東よりの風になることもあるそうです。

風速ですが、ワールドのホームページに10～20knotとありますが、このとおりだと思います。朝、夕は多少風が落ちることもあるようですが、日中は安定して吹いていました。海上での風の様子をみた9日は、朝から10～15knotくらい吹いており、昼には強まって15～20knotまであがりました。10日は10knot程度でした。

レースエリア付近の地勢について説明します。艇を置くことになるホテル(図1の黄色の印)の浜は東方向に開いており、西風のととき風裏になり大変穏やかです(写真2)。この浜はホテルのプライベートビーチで、浜の背後にはやしの木などがしげり、ビーチレストランもあって、のんびりするにはもってこいの場所です。

ここから、沖出しした場所がレースエリアとなります。写真1をみてもらうとわかるように、西側の岬や島から北方向に回りこんだ位置になりますので、外洋のうねりが入ってくることはなく、波は風の吹送によるもので、風速に応じて波がたつ感じです。南西風の場合、レースエリアからみれば、

Ko Lon と Ko Aeo の間から風が吹いてきます。Ko Lon は標高が 200 メートル以上、Ko Aeo でも 100 メートル程度あり、この島々の影響はかなり後方まで及びます。Robert の話によれば、できるだけ地形の影響を受けないように沖だしすること。

いくつか基礎的なデータを紹介しておきます。まず、ホテル近くにプーケット港があり、その沖で潮位観測が行われています。ワールド期間中は大潮の時期ではないようですが、ホテル前の海面は大変浅く、干潮の時には艇をつれて多少お散歩することになるかもしれません。レースエリアは水深 20 メートル+ で、十分な水深があります。

MHWS (Mean High Water Spring)	3.28m	大潮の平均満潮位
MHWN (Mean High Water Neap)	2.46m	小潮の平均満潮位
MLWN (Mean Low Water Neap)	1.55m	小潮の平均干潮位
MLWS (Mean Low Water Spring)	0.77m	大潮の平均干潮位

潮流については、海図によれば、北東方向に 1.5knot、南西方向に 2.2knot となっています。また、ホテルから北方向にあがったところにプーケット港がありますが、船の航行は少なく、レースの邪魔になることはないと思います。この海域ではこれまで本格的なディンギーレースは開催されたことはないようですが、ディンギーレースにはとても適した場所だと言えます。十分な風のもと、ヨットの基礎体力の勝負になると予想しています。

水温や気温に関するデータはありませんが、晴ればセーリングパンツとラッシュガードで十分。しかし、前述のとおり、曇天で時々雨という天気、強い風に吹かれることを考えるとショートジョン、スプレージャケット程度は持参した方がよいと思います。また、空港、飛行機の中、レストランなどは南国共通でかなり冷房が強いので、上着は必需品です。

艇の運搬についてですが、プーケットタウンからさらに南下してパンワ岬の西側途中（ホテルは岬東側の傾斜地に立地）までは道路が整備されており、コンテナも進入可能と思われませんが、岬の尾根を越える道は細く、勾配がきつく（乗用車であれば、1速で上る感じ）、コンテナは進入できません。その手前で積み下ろし作業を行い、廻航などでホテルの浜に搬入することが検討されています。

最後になりましたが、テストセーリングに協力してもらい、また海図などの情報を提供してもらった Robert Warnes 氏に感謝します。氏が主催する Skiff Asia (<http://www.skiffasia.com/>) は写真 1 に水色の印で記した場所にあり、29er や 59er などを借りることができます。

田中郁也@ Bangkok

Sources of weather information for Phuket, Thailand

- http://www.tmd.go.th/program/map_weather01_eng.php?id=1
- <http://app.nea.gov.sg/cms/htdocs/mss4.asp>
- <http://app.nea.gov.sg/cms/htdocs/article.asp?pid=1122>
- <http://www.windguru.cz/int/index.php>



写真 1



写真 2



写真 3

Racing

レース情報

スプリング レガッタ



マイラーセール公式戦初登場 小松・小川組 優勝

April. 29-30 , 2006 HAYAMA

Photo by Miyashita

今年のスプリングレガッタ直前にマイラーセールが日本に届き、さっそくレガッタにお目見えしました。初日は残念ながら無風のためレースを行えませんでした。2日目は軽風から強風までコンディションの中、2レースが実施されました。優勝は葉山の小松・小川組、2位は同じく葉山の山本・中島組、3位は江ノ島の赤井・千波・村上組とマイラーセールのチームが上位を占めました。

テザーズスプリングレガッタ 2006

2761 葉山フリート 小松 充

ゴールデンウィークのスタートとなる2006年4月29日・30日、シーズン初めのイベントが、例年通り葉山にて開催されました。

年初のクラスルール変更により、使用可能となったマイラーセールがようやく入荷されたものの、注文者に納品されたのはレース当日朝7時という慌しいスケジュールで、PSJ大谷さんのNew Otani Hotel(車の名前)の前では、早朝からドリルの音がガリガリ鳴り響き、マイラーを導入したチームは、朝からマストへのクリート追加、陸上でのセールセッティングなどに追

われることとなりました。

マイラーセールは統一規格で製造されるものの、従来のダクロンセールのデザインから改良されたデザインを採用しており、その両タイプのセールが認められた状況が、今回のスプリングレガッタから事実上始まったこととなります。ワンデザインであるテザークラスとしては、かなり思い切った選択かもしれませんが、よくできたセールで、とにかく楽しいので、割と早い時期にさらに整備が進むのではないだろうかという印象でした。

初日は、ここしばらく不安定な気候が

続いており、朝から無風。開会式が終わっても無風。AP旗が揚がって、和気藹々としたご歓談タイムや各艇のセッティングなどを見ながら陸上待機していると、いつの間にか時間は刻々と過ぎるが、やっぱり無風。とうとう、初日のレースは延期されることになりました。片付け始めた頃、ようやく雨と共に風も入り、一部のチームは練習へと出て行きました。

夜は、恒例のレセプションパーティー。フリート紹介、2005年度のTasar Sailor Of The Yearの表彰などが行われ、堀内会館の座敷でのオープ



んなパーティーで親睦を深めました。

明けて2日目。軽い南風が偏在するコンディション。海上へ出るものの、不十分な風でAP旗が揚がる。若干風がよくなりかけたところで、周回数の少ないコース2が選択され、準備信号が揚がりました。レース委員会として

は、レースが未成立の状態であることから、まず1レースの成立を目指したいとの意図であろう。数度のゼネリコ後、左海面にブローが入る。アウター側でトップスタートを決めた2669(平生夫妻)艇が1上をトップ回航、2761(小松・小川)艇、2395(本吉・穂積)艇が続き、3艇のマイラー艇がトップグループを形成した。軽量の

2669艇は、軽風下でのアドバンテージを発揮し、さらにリードを広げ、2395艇は優れたポートパフォーマンスで、いまひとつ走りの優れない2761艇をかかわしていく。サイド - 下で良いコースを選択した2709(野嶋・天田)艇が順位を上げ、3位の2761艇を猛追するが、2下でのコース短縮で一步及ばず八ナ差の4位となった。

続く第2レースでは、周回数の多いコース1が選択される。南寄りの風が若干安定したことと、1レースが成立したこと、レース数をこなすことより各レースをきっちり行おうとのレース委員会のポリシーが読み取れ

る。こういう場面では、レース委員会の考えを理解し、適切なゲームプランを持つことが重要となる。日程的にも最大3レースにほぼ絞られたこと、カットはないのでリコールやケースといったリスクは排除すること、少ないレース数の中でのスコアメイクを考慮しなければならない。南寄りの190度設

定、スタート後の左海面の優位性は変わらないので、アウター寄りでのスタートが望ましいが、反面、混雑が激しく、リコールリスクがかなり高くなっている。1上は、アウター寄りの中でも堅実なスタートを決めた2762(赤井・村上)艇がトップ回航、続いて、アウターの熾烈な



争いから抜け出したチームが続いた(但し、数艇はリコールしていたとのこと)。ところが、まったく同タイプのマークがサイドマーク付近に設定されており、先程の第1レースの上 - サイドがシフトにより高い位置関係になっていた記憶が先入観となったのか、全艇が高い位置にある別のフリートのマークを勘違い回航。春の珍事でノーレースとなった。

第3レースは、190度設定、相変わらず左海面に優位性があるが、徐々に風は上がりつつある。2度目のゼネリコの後、本部船寄りには210度のブローが入り、上スタートも有利に…。それまでの下有利から下スタートへの先入観が拭

い切れない様子でアウター寄りは大混雑。ヌケヌケとガラ空きの上スタートをほぼ単独で決めた2761艇がスタボーロングのコースを快調に消化して、1上をトップ回航、混雑したアウター寄りから脱した2395艇がこれに続く。後続はやや離れ、上マークに到達する頃にはこの南西の風が上がって、沈艇も続出するコンディションになった。上りとリーチングのポートパフォーマンスに優れる2395艇が猛追し、あっという間に2761艇に追いつく。1ポイント差を争う両者のデッドヒートとなった。葉山港では端が千切れた赤い吹流しが揚がり、海上では沈艇をレスキューするシーンもあり、すっかりサバイバルの様相となったため、3上で短縮フィニッシュとなる。2761艇

が辛くも逃げ切り、優勝を決めた。

総合成績では、最終レースで下スタートを選択したチーム数艇にリコールがあり、手堅いレースを展開した2396(山本・中島)艇が2位、2762艇が3位となりました。少ないレース数の中、ハイリスク・ハイリターンを狙わざる得ない場面かどうかは、状況に応じた

判断が必要とされますが、リスクを避けたチームが結果的に上位を占めることとなりました。

今回は、初日の無風での中止判断、全艇マーク勘違いによるノーレース判断、サバイバルでのコース短縮判断とレース委員長を務めた山下栄輝さんには、大変な気苦労をおかけしました。選手一同より御礼を申し上げます。また、福岡や関西からのロングドライブで参加していただいたチームが多かったことに、ホストフリート一同より御礼を申し上げます。

2006年度 スプリングレガッタ

2006年4月29～30日 葉山

総合

1	2761	葉山	一般	小松 充	小川 雅		3	3	1	1	4	0	4
2	2396	葉山	一般	山本 晴之	中島 玲子		7	7	4	4	11	0	11
3	2762	江ノ島	一般	赤井 寛	千波 正隆	村上 誠一郎	11	11	2	2	13	0	13
4	2709	葉山	一般	野嶋 嘉昭	天田 和伸		4	4	10	10	14	0	14
5	2593	稲毛	一般	井上 誠一	亀山 寛達		15	15	3	3	18	0	18
6	2720	葉山	一般	岡 誠	建内 満		9	9	9	9	18	0	18
7	2671	葉山	一般	小林 昌弥	小林 友子	荒島 謙治	10	10	13	13	23	0	23
8	2571	琵琶湖	GM	高山 勝	小沢 拓身		18	18	6	6	24	0	24
9	2764	芦屋	一般	中西 英貴	中川 秀男		19	19	7	7	26	0	26
10	2707	浜名湖	GM	石塚 恒志	白岩 道孝		22	22	5	5	27	0	27
11	2294	江ノ島	M	村尾 隆	津田 展明	富田 あかね	6	6	23	23	29	0	29
12	2575	その他	一般	高橋 夏樹	佐久間 祐司		21	21	8	8	29	0	29
13	2712	芦屋	一般	下村 晃司	安田 一真		20	20	12	12	32	0	32
14	2669	稲毛	一般	平生 純一郎	平生 玲子		1	1	OCS	37	38	0	38
15	2732	江ノ島	一般	星野 直広	安田 貴美子		23	23	15	15	38	0	38
16	2395	葉山	一般	本吉 謙治	徳積 洋平		2	2	OCS	37	39	0	39
17	2730	稲毛	M	宇佐美 重則	小田倉 里美		5	5	DNF	37	42	0	42
18	2670	芦屋	一般	大河 雄一	安澤 厚男		29	29	14	14	43	0	43
19	2708	葉山	一般	大橋 武史	永尾 岳志		26	26	17	17	43	0	43
20	2615	葉山	一般	田口 裕介	森 理子		8	8	DNF	37	45	0	45
21	2203	葉山	一般	外石 満	町田 亜紀		27	27	18	18	45	0	45
22	2748	葉山	M	石原 裕二	本間 威		28	28	20	20	48	0	48
23	2809	浜名湖	一般	蜂須賀 強	蜂須賀 通海		12	12	DNF	37	49	0	49
24	2602	稲毛	一般	田中 真人	野田 俊介		13	13	DNF	37	50	0	50
25	2726	なし	一般	加野 靖紀	河野 恭子		14	14	DSQ	37	51	0	51
26	2609	葉山	一般	野本 雅史	寶地 卓		35	35	16	16	51	0	51
27	2741	江ノ島	一般	瀧本 浩一	塚原 郁朗		31	31	21	21	52	0	52
28	2466	江ノ島	M	高橋 徹	長澤 治		30	30	22	22	52	0	52
29	2676	稲毛	GM	金子 文雄	金子 ルミ	岸野 真	16	16	DNF	37	53	0	53
30	2735	稲毛	一般	宮本 哲生	今井 ゆり子		34	34	19	19	53	0	53
31	2725	大阪北港	M	池田 俊則			17	17	DNF	37	54	0	54
32	2768	葉山	一般	久礼 嘉伸	渡辺 さおり	金子 直樹	24	24	OCS	37	61	0	61
33	2552	葉山	一般	多井 堅一郎	有持 祐之		DNF	37	24	24	61	0	61
34	2652	江ノ島	SGM	山分 信	田口 公一		25	25	DNF	37	62	0	62
35	2675	葉山	GM	安原 実郎	山崎 真一		32	32	DNF	37	69	0	69
36	2660	芦屋	一般	臼井 由利子	角野 朋子		33	33	DNF	37	70	0	70

クラス別 マスタークラス

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー 1	クルー 2	1R		2R		Total	Cut	Net
							着順	得点	着順	得点			
1	2748	葉山	M	石原 裕二	本間 威		4	4	1	1	5	0	5
2	2294	江ノ島	M	村尾 隆	津田 展明	富田 あかね	2	2	3	3	5	0	5
3	2730	稲毛	M	宇佐美 重則	小田倉 里美		1	1	DNF	6	7	0	7
4	2466	江ノ島	M	高橋 徹	長澤 治		5	5	2	2	7	0	7
5	2725	大阪北港	M	池田 俊則			3	3	DNF	6	9	0	9

グランドマスタークラス

1	2707	浜名湖	GM	石塚 恒志	白岩 道孝		3	3	1	1	4	0	4
2	2571	琵琶湖	GM	高山 勝	小沢 拓身		2	2	2	2	4	0	4
3	2676	稲毛	GM	金子 文雄	金子 ルミ	岸野 真	1	1	DNF	5	6	0	6
4	2675	葉山	GM	安原 実郎	山崎 真一		4	4	DNF	5	9	0	9

スーパーグランドマスタークラス

1	2652	江ノ島	SGM	山分 信	田口 公一		1	1	DNF	2	3	0	3
---	------	-----	-----	------	-------	--	---	---	-----	---	---	---	---

西日本選手権

浜名湖 石塚・白岩組 初優勝

July. 16, 2006 ASHIYA

Photo by Kaneko

西日本選手権 2006

2396 葉山フリート 山本晴之

葉山デラマンチャYC 山本です。

西日本の翌日7/17に葉山で参加しなければならないイベントレ-スがあり、とんぼ返りの日程に体力がもつかどうか？ぎりぎりまで中島と検討していたためエントリーが遅れ、安澤さんにはご迷惑おかけしました。という事でいかに楽に、疲れなくてレ-スをして帰るかが、今回のレ-スのキ-ポイントでした。

レ-スの印象としては、風のわりにはコ-スが短く感じられ、「さあ いくぞ 仕掛けるぞ」と前に追いついた頃にフィニッシュで、中島と「もう1レグあればもうちょっと抜けたのにね」と話していました。

しかしながら第3レ-スの最終上りレグではかなり風がおちて、ダクロンの時のように対応ができず、スピードが思うようにコントロール出来なくなり 今後の課題も見つかりました。

運営、準備の方、金子さん、安澤さん、皆さんありがとうございました中島ありがとう。

P S おかげさまで17日のレ-スには参加出来ました(朝トラブルがあり、10分遅れでスタートしましたが、ゲ-トがとじてなくてラッキー-) 田口さんお疲れ様



2006年度 西日本選手権

2006年7月16日 芦屋マリンセンター

総合

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー 1	1R		2R		3R		Total	Cut	Net
						着順	得点	着順	得点	着順	得点			
1	2707	浜名湖	GM	石塚 恒志	白岩 道孝	3	3	1	1	2	2	6	0	6
2	2396	葉山	一般	山本 晴之	中島 玲子	6	6	4	4	3	3	13	0	13
3	2709	葉山	M	宮下 知之	石川 洋二	5	5	5	5	4	4	14	0	14
4	2764	芦屋	一般	中西 英貴	中西 美紀	7	7	3	3	7	7	17	0	17
5	2720	葉山	一般	岡 誠	建内 満	11	11	7	7	5	5	23	0	23
6	2712	芦屋	一般	下村 晃司	安田 一真	9	9	8	8	6	6	23	0	23
7	2616	芦屋	GM	高山 勝	小沢 拓身	10	10	6	6	9	9	25	0	25
8	2395	葉山	一般	本吉 譲治	神内 悠里	2	2	2	2	OCS	23	27	0	27
9	2738	大阪北港	一般	三輪 記裕	更山 智博	13	13	9	9	8	8	30	0	30
10	2653	大阪北港	GM	多田 幸男	入村 じゅん子	12	12	11	11	11	11	34	0	34
11	2725	大阪北港	M	池田 俊則	秋吉 寿美子	4	4	10	10	OCS	23	37	0	37
12	2743	大阪北港	GM	白杵 辰朗	鳥井 純子	15	15	13	13	10	10	38	0	38
13	2327	その他	M	中村 博士	大串 英宣	16	16	12	12	13	13	41	0	41
14	2705	芦屋	一般	植田 泰平	植田 典子	DNF	23	DNC	23	1	1	47	0	47
15	2670	芦屋	GM	内村 祥史	安澤 厚男	1	1	DNC	23	DNC	23	47	0	47
16	2534	芦屋	一般	佐藤 和紀	鈴木 章弘	17	17	16	16	15	15	47	0	47
17	2739	その他	一般	加野 靖紀	亀井 綾子	14	14	DNF	23	12	12	49	0	49
18	2143	その他	M	池田 光孝	山田 尚矢	DNS	23	15	15	14	14	51	0	51
19	423	その他	一般	玉置 淳	松原 茂樹	8	8	DNC	23	DNC	23	54	0	54
20	2668		M	河野 信司	高山 優	DNC	23	DNC	23	DNC	23	69	0	69
20	2660	芦屋	一般	白井 由利子	角野 朋子	DNF	23	DNC	23	DNC	23	69	0	69
20	2676	稲毛	GM	金子 文雄	金子 ルミ	DNC	23	DNC	23	DNC	23	69	0	69



ミッドサマー レガッタ

平生夫妻組が連覇！

August 19-20 2006, Lake Inawashiro

photo by Inawashiro Open Yacht Race Executive Committee

風光明媚な磐梯山を眺めながらのミッドサマーレガッタは、風に恵まれて5レースを実施しました。オープンヨットレースということで、トライアングルコースとソーセージコースとを交互に走ることになりました。3mから5m前後の順風の中、稲毛の平生夫妻組が驚異的な速さをみせて優勝しました。2位は稲毛の宇佐美・小田倉組、3位は葉山の岡・建内組でした。

「ペダルの効果？」

稲毛フリート 平生 純一郎

今年のミッドサマーレガッタは、良い風に恵まれて予定通り5レースが実施された。近年、風が吹かずに1、2レースしか消化できないことが多かったため、専ら湖水浴のつもりでハーバーに到着したが、意外にも朝から良い風が吹いており、湖面を見た瞬間、気持ちを引き締めた。勿論、クルーに気付かれないようにである。我が艇のクルーはスキッパーの気合いを感じると何となく気分が萎えてくるようであり、最近では密かに内に秘めることを私も覚えた。

全てのレースが我々の得意な軽風下のコンディションで行われ、ボートスピードにおいては、高いパフォーマンスを発揮することができた。それ故、初日終了後のレセプションでは、我が艇には実はペダルが付いているという疑惑が浮上し、仕舞いには「スワン号」という嬉しいような嬉しくないよ

うなニックネームを授かってしまった。冗談はさておき、レースの話をしたいと思う。

今回のミッドサマーも勿論のこと、最近、レースに望む上で気をつけている点をいくつか述べていきたいと思う。



まずは、スタート前に海面をよく見て、スタート後にどの海面を使って上マークに向かうか考えること。これを行っただけで、スタートのポジショニングを考える。その日のコンディションによっても変わる

ことであるが、スタートは有利サイドを確保するよりも、スタート後の展開を予想してポジショニングすることが多い。

それからスタート直後のフリーウォーターには非常に気をつけている。下側のフリーウォーターは勿論のことであるが、すぐに右海面に行きたいときなどは、上側にタックできるだけのルームを確保しておくことが非常に重要であると考えている。

あとは、基本的なことであるが、絶対にオーバーセールをしないこと。これは非常に重要であると考えている。ヨットはとにかく最短距離を走ることが大切だと思う。

どれも基本的なことばかりであるが、基本的なことを如何にして着実に実行するか、ということがヨットレースの肝であり、また、一番難しい点であると感じている。

最後にボートスピードであるが、こればかりは、クルーに一生懸命ペダルを漕いでもらうしかない……。

2006年度 ミッドサマーレガッタ

2006年8月19日～20日 猪苗代湖

総合

Pos	Sail No	フリート	クラス	スキッパー	クルー 1	クルー 2	1R		2R		3R		4R		5R		Cut	Net
							着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点		
1	2669	稲毛	一般	平生 純一郎	平生 玲子		1	1	1	1	1	1	3	3	1	1	3	4
2	2730	稲毛	M	宇佐美 重則	小田倉 里美		2	2	2	2	3	3	2	2	OCS	16	16	9
3	2720	葉山	一般	岡 誠	建内 満		3	3	3	3	4	4	1	1	OCS	16	16	11
4	2709	葉山	M	野嶋 嘉昭	石川 洋二		4	4	4	4	2	2	4	4	3	3	4	13
5	2806	江ノ島	M	村尾 隆	赤井 寛		7	7	5	5	6	6	6	6	2	2	7	19
6	2708	葉山	一般	梅田 哲士	安藤 拓史		8	8	9	9	7	7	5	5	5	5	9	25
7	2453	葉山	一般	多井 堅一郎	田中 剛		9	9	6	6	9	9	8	8	6	6	9	29
8	2609	葉山	一般	外石 満	相葉 基夫		10	10	8	8	8	8	7	7	9	9	10	32
9	2768	葉山	一般	渡辺 さおり	久礼 嘉伸		5	5	7	7	5	5	OCS	16	OCS	16	16	33
10	2748	葉山	一般	石原 裕二	石原 理絵		13	13	10	10	10	10	10	10	7	7	13	37
11	2203	葉山	一般	野本 雅史	矢柴 明美		11	11	OCS	16	12	12	9	9	8	8	16	40
12	2761	葉山	一般	小松 充	小川 雅	小松 俊介	6	6	DNC	16	DNC	16	OCS	16	4	4	16	42
13	2552	葉山	一般	荒島 謙治	賣地 卓		12	12	11	11	11	11	12	12	11	11	12	45
14	2563	葉山	M	遠藤 宗翁	柳原 伸一		14	14	12	12	13	13	11	11	10	10	14	46
15	2396	葉山	一般	山本 晴之	中島 玲子		DNC	16	DNC	16	DNC	16	DNC	16	DNC	16	16	64



優勝
平生純一郎・玲子組（稲毛）



第2位・マスタークラス優勝
宇佐美 重則・小田倉 里美組（稲毛）



第3位
岡 誠・建内 満組（葉山）



【会費納入のお願い】

2006年度分の会費はお早めに下記までお振込みください。

振込先：

三菱東京 UFJ 銀行
浦和支店（店番 669）

普通 1320347

日本テニサー協会

会計 本間 威

（ニホンテニサーキョウカイ

カイケイ ホンマ タケシ）

振込み依頼人名は必ず会員本人のお名前をお願いいたします

年会費：

個人会員 5,000 円

個人3年会員 14,000 円

家族会員 3,000 円

< 会費納入についての問合せ先 >

会計 本間

メール：kaikei@tasarjapan.org

【住所変更について】

住所等の登録事項に変更がありましたら、下記国内事務局までご連絡ください。協会ウェブサイトでも住所変更用フォームが利用可能です。

【入会のご案内】

一緒にテニサーを楽しみませんか？日本テニサー協会では随時入会を受付けています。入会をご希望の方は、メールフォームまたは所定の申込用紙にてご連絡の上、左記口座に会費をお振込みください。振込が確認された時点で登録とさせていただきます。

ご不明な点は国内事務局までお問合せください。

< 新規入会及び住所変更用フォーム >

<http://tasarjapan.org/membership/registration.html>

【JSAFの登録について】

JSAF（日本セーリング連盟）会員登録のテニサー協会担当が下記のとおり変

更となりました。JSAFへの加入は、協会加入と共に全日本選手権の出場資格となります。登録ご希望の方は下記までお申込みください。

入会とJSAF登録の問合せ先

国内事務局 亀山

メール：info@tasarjapan.org

【TasarNews】ではみなさんからの便りを募集中です。フリートレースの結果やローカルイベントのレポート、セイルトリップの報告、新しいメンバーの紹介やニュースなど、皆さんの身近なテニサーライフをご紹介します。また、TasarNewsに関する感想やご意見も合わせてお寄せください。

お楽しみ便りをお待ちしています。

お便り
大募集

JTA 広報チーム

mail: publicity@tasarjapan.org
まで

Tasar News Vol.86

2006年9月発行

日本テニサー協会

代表 金子 文雄

〒261-0013

千葉市美浜区打瀬 1-2-3 C-1201

Editor

Makoto Oka

Designer

Sumiko Ishimaru

Contact

事務局

info@tasarjapan.org

イベント

event@tasarjapan.org

メジャーラー

measurer@tasarjapan.org

会計

kaikei@tasarjapan.org

広報

publicity@tasarjapan.org

編集後記 Editor's Note

今年度より広報を担当することになり、初めてのニュースレター制作でした。でも、印刷物の編集を行うDTPソフトはこれまでさわったことがない！普通なら途方にくれるところですが、前任の石丸さんが会報誌としてスタイルを確立されていたので、見よう見まねで編集することができました。今回の制作でも石丸さんは大活躍！へっぼ編集者につきあって夜中まで制作にかかわるメールに対応してくださいました。

今年の大きなトピックはマイラーレースの導入でしょう。私のチームは西日本選手権の朝に受け取って、ぶっつけ本番で走らせました。ダクロンとの違いにとまどうことも多く、悩み続けることになりそうです。ただ、試行錯誤す

るわれわれを見ていたKさんは、「ヨットを始めたころの楽しい気持ちを思い出した」と。長年の積み重ねによるセッティングがリセットされることは、マイナスばかりじゃないんですね。マイラーレースを取り入れたテ



photo by A.Yashiba

ニサーはコミュニティの外からも注目度が高いと感じています。国内で初めてマイラー艇が走ったスプリングレガッタのレポートは、『KAZI』誌のレース結果ページで大きくトップを飾りました。

広報で重要なお仕事のつ

に写真撮影があります。レガッタにはたいい選手として参加するので、海上での撮影は運営の方にお願いすることになりますが、陸上での選手・運営のみなさんの表情をできるだけお伝えしたいと奮闘するのです。

ただ、これまでのコンパクトデジカメだと能力不足で、せっかくの笑顔が生きないと実感するようになってきたので、それではもったいないとカメラをグレードアップしてみました。このところはそれがうれしくて

クラブの活動でもたくさん撮っています。

みなさんカメラを向けられたら、とびっきりの笑顔で応えてくださいな。

(m.oka)